

鳥取東高通信

題字：柴山 抱海 氏

第191号
令和4年12月

編集・発行
鳥取東高等学校PTA
鳥取県立鳥取東高等学校
印刷 日ノ丸印刷株式会社



同窓生による弦楽四重奏ステージ



書道パフォーマンス

創立百周年記念式典

2022.09.07



創立百周年に寄せて

副校長 原田 晋一

鳥取東高校は令和4年度百周年を迎え、これまでに創立記念講演、創立百周年記念式典、トレーニングジムのリニューアル、図書館の書架整備などを行いました。コロナ禍ということもあり、いずれも出席者を制限しての実施となりましたが、ここまでの行事を終了することができました。これも同窓会、PTAの皆さまをはじめ関係者の皆さまのおかげだと思います。ありがとうございました。

さて、私が生徒として在籍していた頃、「規律ある自由」の校風のもと創立60周年記念式典がありました。記念講演として「マタギ」という映画を暗幕を張った体育館で鑑賞したことは忘れずに覚えています。当時は就職、私立文系、国公立を希望するクラスがあり、いろいろな希望を持った生徒に対応する学校でした。それから40年。時代は変化し、自由な校風のもと「3兎を追い」を合い言葉に主体性を育むための教育活動が実践され、多くの生徒が国公立を目指す学校になってます。新たな百年にむけての校風や伝統はこれからの生徒たちが作り出していくことになります。時代の変化に合わせて変わっていくと思いますが、泥臭く諦めることなく最後までやりきる精神は残して欲しいと思います。



百周年を迎えて

PTA会長 網谷 憲治

鳥取東高は、無事に創立百周年を迎えることが出来ました。これもひとえに生徒、教職員はもとより、関係者の皆さまに様々な形で支援していただいたおかげだと思います。誠にありがとうございました。

百周年の到来は、次の百年のスタートでもあります。現在の国際情勢や社会環境は大きく変化していることは皆さまご承知の通りで、今後はさらに大きく変化すると思われます。このような次の百年においても、本校の建学の精神である「克己、親和、進取」は、必要とされる考え方であると確信しています。既存の価値観や考え方に囚われず、どんどん新しいことや難しいことにチャレンジしてほしいと思います。当然失敗することもあると思いますが、成功するために必要なプロセスの一つだと前向きに捉えて、高い壁を乗り越えてほしいと思います。これまでの百年では、障がい者福祉に取り組んだ糸賀一雄さんや、世界選手権女子マラソン銀メダルの山下佐知子さんなど、素晴らしい活躍をされた先輩が多くおられます。これからの百年を築く皆さんも、それぞれの分野で努力を重ねて、自分の人生を切り拓いてほしいと思います。



study trip

10/5▶7

2学年 研修旅行

コロナ禍3年目での研修旅行(普通科)

2学年主任 木村 憲之

「北海道に行けない」となったのが8月下旬。計画通り北海道で準備を進めていたが1日の新規感染者数が8月20日に4日連続で千人を超えたのである。旅先で感染したときに、迎えに来られないというのが大きな理由であった。去年おとしの生徒たちの無念が脳裏をよぎった。急遽、行先を京都・大阪に変更し、ホテル・バスを取り直していただいた。計画も一からやり直し。

バスを降りる時に副担任が検温、班別研修に出発する前には担任・副担任で検温など、さまざまな感染対策を実行した。そんな中、夕食時、2クラスが同じ部屋でマスクをはずして見せる笑顔の数々。こんなすてきな笑顔してたんだ。1年半も同じ時を過ごしているのにあまりにも知らない笑顔の数々。生徒同士も日常の制限の中で、窮屈な毎日を過ごしている現状がここにきてより明らかになったような気がした。人生の中でたった3年間しかない高校生である貴重な時間。もう半分も過ぎてしまった。一刻も早くマスクをはずして生活できる日常に戻ってほしい。

コロナ禍の中、研修旅行に行かせていただいた保護者の方々、JTB高木さん、2回分(北海道と京都大阪)準備していただいた富林先生を始め2年の先生方、それを支えていただいたすべての先生方へ感謝申し上げます。

日程

普通科
(1~6組)

1日目 学校 → 金閣寺 → しょうざんリゾートにて昼食 → 伏見稲荷大社 → 清水寺 → 宿舎(ホテルエミオン京都)
2日目 宿舎 → 班別自主研修 → 宿舎
3日目 宿舎 → ユニバーサルスタジオジャパン → 学校

理数科
(7組)

1日目 学校 → 《瀬戸大橋》 → 四国水族館 → クアタラソさめぎ津田(シーカヤック) → 宿泊(丸亀市内)
2日目 宿舎 → 吉野川ラフティング → 祖谷のかずら橋 → 宿舎(徳島市内)
3日目 《鳴門・明石大橋》 → ユニバーサルスタジオジャパン → 学校

1組



奇跡の研修旅行

2年1組 松岡 大智

中学3年、修学旅行中止。高1、高原教育延期。そして、高2、研修旅行実施。

マジか!?というのが正直な所であった。驚きや戸惑いはあったがやはり嬉しさが9割を占めていた。この未だに終わりの見えないコロナ禍でこのような壮大なプロジェクトを実行できたのは、先生方をはじめ、運転手さんであったり、添乗員さんであったり、日々の感染防止対策に努めた先生方、運転手さん、添乗員さん、そして学年のみんなの力があってこそだと思う。

そして、何より忘れることが出来ないのは保護者の存在だ。私たち個人ではこの研修には参加できなかった。それどころか、日常の学校生活さえも保護者の力がなければ送れないだろう。

このコロナ禍であるにも関わらず実行できた貴重な3日間にはまさに奇跡と呼べるだろう。この3日間を創ってくださった全ての皆さんには感謝してもしきれません。





2組

研修旅行

2年2組 上野 桜

私は、この研修旅行を通して、友達の新たな一面を知り、より絆を深めることができました。いつもは学校でしか会えない友達と京都を観光したり同じ部屋で過ごしたりすることで相手のことを知るいい機会になりました。

また2日目の班別研修では、限られた時間の中で、それぞれが行きたい場所、やりたいことを話し合って計画を立てるのがとても楽しい経験になりました。京都は、歴史的な建造物が多く、どこに行っても鳥取ではなかなか見ることのできない景色ばかりでとても有意義な一日を過ごすことができました。

新型コロナウイルスの感染が拡大する状況で研修旅行に行くことができたことに感謝し、これからの学校生活では、勉強モードに切り替えてこれまで以上にがんばっていきたいです。



一生のおもひで

2年3組 澤口 怜奈

私たちは10月5日～7日の間、当初の予定の北海道3泊4日とは違い、京都・大阪2泊3日の研修旅行に行ってきましたが、ひとこと言っても最高でした！

この3日間で私が一番心に残っているのは2日目の班別研修です。歴史的な文化財の前で私たちのオリジナルポーズで堂々と写真を撮ったり、京都で有名な抹茶館の抹茶ティラミスを食べたり、古着屋を巡ったり、京都の街を満喫しました。

今回の研修旅行で計画力・行動力・適応力など様々な力を身につけることができました。普段はできないような貴重な体験をし、班の仲間やクラスの友達とより仲を深めることができましたと思います。

そして、何よりも研修旅行を計画し実行してくださった先生方、送り出してくれた保護者の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。これまでの高校生活の中で一番いい思い出になりました。本当に本当にありがとうございました。



3組

4組



最後の研修旅行

2年4組 渡邊 陽光

僕がこの3日間を終えて「何がよかった?」と聞かれたら、やっぱり研修旅行そのものに行けたことだと答えると思います。このコロナ禍で研修旅行自体が難しい中、先生やいろいろな方が努力してくださったおかげで行くことができ、感謝すべきことだと思います。あとは、みんながこの3日間を楽しめたことがよかったのではないかと思います。例えば、「バスの中が楽しかった」「ホテルでの男子会、女子会が楽しかった」「ユニバ最高」「おみくじの引き悪いわ」などと皆が言っていました。僕自身の思い出は、ユニバのジョーズとお化け屋敷です。正直、ずっと友だちに抱きついて叫んだ記憶しかありません。

この研修旅行をきっかけにたくさんの人と仲を深めたり、研修旅行にいったこの経験がこれから役立ってほしいと思います。



研修旅行について

2年5組 柴田 瑛斗

まずは、様々な変更や制限がありながらも研修旅行に行けたことがとても嬉しかったです。また研修旅行を通して、改めて新型コロナウイルス感染症対策の大切さを感じました。今回の研修旅行では、自分達で交通機関の時間や料金を調べて行動した2日目がとても印象に残っています。僕は県外の大学へ通いたいと思っていて、この「自分達で」という行動はすべてがこれからに繋がると考えています。最近旅行や遠征などの準備を完全に1人で出来るようになってきたこともあり、とてもやりがいがありました。また3日目は、大好きな仲間達と共に時間を過ごすことが出来たので、本当に幸せでした。もう2年生も後半で、このような機会も少なくなってきましたので、一つ一つ大切にしていきたいです。



5組



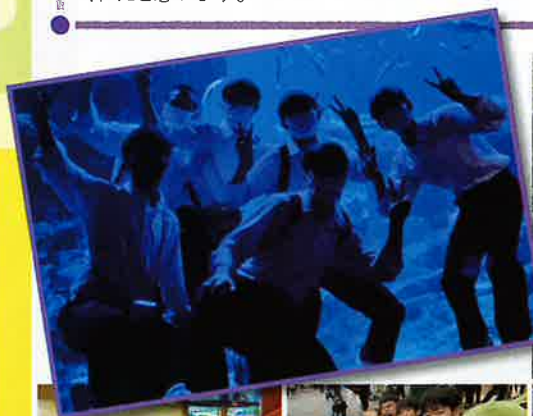
小さな新発見

2年6組 中村 勇希

今年の研修旅行で僕はたくさんの思い出と経験を得ることができました。コロナの影響もあり、元々北海道だったのが京都・大阪になり、修学旅行の開催すら危うくなったのですが、無事行くことができ、本当に楽しく過ごせました。

中でも特に思い出に残ったのは、やはり2日目の自由行動です。朝9時から夕方5時まで、友達と過ごせる本当の意味での自由な時間は、あっという間に過ぎて行きました。電車やバスで移動すること、ICOCAを買って使ったこと、路地裏を通って隠れたラーメン屋へ行ったこと。有名な観光地を巡るのではなく、こういった何気ない新鮮な出来事が僕の修学旅行に深みを与え、彩りを感じさせてくれたと思います。

6組



7組



屋久島ではなかったけれど...

2年7組 戸板 実穂

今年も予定されていた屋久島行きは中止となり、代わりに香川・徳島・大阪に行きました。

1日目の香川ではシーカヤック、2日目の徳島ではラフティングを体験しました。特にラフティングは八人乗りのボートだったのでみんなの力を合わせて漕がないと思った方向に進まなかったり、川の流れて左右されたりとうまくいかない場面もありましたが、全員でゴールすることができてよかったです。

3日目の大阪ではUSJに行きました。4時間半という短い時間の中で楽しむことができるのだろうかと思っていましたが、同じ部活の仲間達とまわり、たくさんの思い出を作ることができ満足することができました。

コロナ感染の危険と隣り合わせの状況で本来予定されていた旅の目的は果たされなかったかもしれませんが、私たちのために行き先を変えてまで研修旅行を決定してくださった先生方へ感謝の気持ちでいっぱい입니다。

創立百周年記念事業

10/27 トレーニングジム機器等の更新

最新の機器が導入された鳥取東高校のトレーニングルーム、どの学校にも負けない素晴らしいウエイト場が完成しました。運動部の生徒を中心に、みんなが真新しいマシンにワクワクしながら、嬉しそうに表情で練習に励んでいます。



最新のレッグプレスマシン

体育館には、トレーニング用の高価なボールを30個購入することができました。部活動はもちろん、学校体育の中でも活用し、生徒たちの体力向上に利用させてもらっています。(体育科 福長 正彦)



各部を集めての
トレーニング機器説明会
(11月1日)

10/27 図書室の本棚の更新

このたび図書館入口付近に新しい本棚一式を寄贈していただきました。棚板が可動式になったことで、目線や展示物に合わせて棚の高さを調整できるようになり、生徒にとってより使いやすい環境になりました。図書館は現在「総合的な探究の時間」等の授業で年間200時間以上活用され、1～3年生全員が頻繁に利用する場所となっています。調べたことを進路に活かす人も増えており、新しい本棚には進路コーナーも設置しました。皆さん、リニューアルした図書館をぜひ活用してください。(図書館司書 高橋 和加)



創立一〇〇周年記念 短歌大会
学校長賞 山内 明音さん(1-2)
ローファアの音をさがして君を待つ夕焼け空を遠く見ながら



今年度、人権教育部副部長をさせていただきます伊藤です。よろしくお願いいたします。私の子ども達も大きくなり、自分だけの時間を持てるようになって、時代遅れの私も時代の流れに沿ってネットに触れる機会が増えてきました。その中で、人権を無視した誹謗中傷の書き込みがインターネット上に溢れていて、とても気になっています。インターネットは、手軽に楽しめて便利だけれど、負の側面も多くあります。例えば、良識ない言葉の書き込み、嘘の情報の書き込み、自分が信じる正義を押し付けたり、受け入れなければ相手を攻撃する書き込み、その人が嫌いだから意図的に評価を下げる書き込みをするなど、問題が多く感じられます。全く関係のない私でも、そのような書き込みを見せまうと怒りを感じるし、心が痛むし、見なければ良かったとさえ思います。そして、人間の心の闇を知ってしまい悲しくなります。とても生きづらさを抱えてしまう世の中だと感じます。政府はインターネット上での誹謗中傷対策として、侮辱罪の厳罰化へ刑法の改正がなされました。悪質な書き込みの抑制になるのか少し疑問です。もっと厳しくした方がいいのではないかと思います。インターネットを利用する私たちは、常に自分の考える姿勢が正しいかどうか疑うことも必要だと思います。ルールやモラルを守って、お互いを思いやる優しい社会になればと思います。(人権教育部 伊藤 千春)

〈人権コラム「虹のしっぽ」について〉虹にしっぽなんてあるわけないと決めつけないで…。もしもあるなら見つけてみたい。考えるだけで楽しい気分になりませんか？

卒業生からのメッセージ

広島大学 工学部 第一類 1年
濱岡 利吉さん



僕は今、広島大学工学部で勉強をしています。今回は僕が高校生の進路選択の時に知りたかった大学のリアルを書きたいと思います。

どの学校もそうだと思いますが大学では一年次には基礎となる高校の復習や少し発展した勉強をひたすらします。そこに自分のしてみたい勉強を自分で選び学びます。何を学ぶかが自由で理系でも文系の授業を受けられるし、その逆もあります。そのため幅広く知識を得ることができます。

僕は高校生の時、大学に行ったらそれほど勉強しないと思っていました。しかし、もちろん学部にもよりますが工学部では授業数も多く、高校より勉強することもあります。そして僕のいる機械工学には女子がほとんどいません。今、工学部を目指している人はやめようかな、と思っているかもしれませんがその分設備が充実しているし、テストではなく実験・実習で単位が取れる授業が多いです。さらに就職が他学部には比べ圧倒的に強いです。大手企業の推薦なども多くあり就活が必要ない場合もあります。このようにそれぞれの学部学科にはいい所と大変な所があります。進路を決める時にはそこを調べてみると後悔しない進路選択ができると思います。

最後に、3年生はそろそろ成績が伸び悩んだり、勉強に飽きたりする頃かと思っています。しかし、大学受験ほど頑張ることは人生でも少ないと思います。逃げずに頑張ってください。最後まで読んでいただきありがとうございます。

東高祭

2022.9.7 水

1



百周年記念式典



校歌合唱



1-2 桃太郎ver.2022



1-7 ソーランぶし



1-1 トイストーリーNG集〜こんなトイストーリーはいやだ!!〜 1-1ver.



1-3 夢をかなえてドラえもん



1-4 コナン〜タピオカ事件編〜



1-6 トムとジェリー



higashigram

higashiko_00

いいね! 841件
#東高祭最高級!! #鳥取東 #1日目
#鳥取東高100周年



1-5 Theオタ芸〜チグハグを添えて〜



卒業生弦楽四重奏



書道パフォーマンス



書道部展示



「特別な東高祭Ⅱ、Ⅲ?」

生徒会担当 中村 容

東高に赴任して4年目になる。その間ずっと生徒会を担当してこの原稿作成も4回目になるわけだが、2年目からコロナの影響を受けての東高祭であり、本来の形をその時のコロナの状況を考慮して内容を変えながら、苦労して、工夫して実施し、今年で3回目になるのである。「特別な東高祭」というタイトルは2年目に書いた原稿と実は同じタイトルである。前回は初めてのコロナを受けて「特別」であったのだが、今年は100周年を迎えて初日に記念式典を組み込んだという点で「特別」であった。「来年こそはコロナが落ち着いて普通に合唱コンクールのある東高祭ができるであろう。」と思いながら3年間その期待も裏切られて、さすがに今年は諦観した心境で、ベストを尽くすのみと生徒会執行部の生徒たちとじっくり話し合いをしながら計画を立てた。初日は梨花ホールで開催。午前中は100周年記念式典。書道パフォーマンスがオープニングを飾り、式典の後は本校の卒業生で県内外で活躍している音楽家の弦楽4重奏、そして吹奏楽部とのコラボレーション演奏で盛り上がった。午後は執行部の生徒と3年生有志が協力して初めてドローンを使い製作したオープニングムービーで学校祭の部が始まり、邦楽部の演奏、理数科の発表そして合唱コンクールが中止となったため昨年に続き梨花ホールの舞台でクラス演技を開催した。2日目は東高の校内で1年生の今年で3年目となる巨大迷路、2年生の各教室でのクイズ、3年生の模擬店から変更されたオリジナル企画を開催。コモンホールでの文化部展示、東雲館での茶道部お点前披露等ゆったりとした時間で1日を過ごした。3日目は雨天の予報で延期が予想されたが当日朝の判断で少雨ながら準備にあたった運動部の生徒や執行部の生徒の熱意も考慮し、決行し、結果的には適度に涼しい中、熱中症もなく午前中で終了するバージョン3で考えたすべての競技を行い、閉会式までたどり着けた。午後からは3年生のみでの夕べのつどいも行っており無事3日間予定通りの日程で開催することができたのであった。コロナも第7波のピークを迎えた時期で全国的に過去最高の感染者数を記録し、県内でも特別警報が出されたような中での学校祭であった。



理数科発表



演劇部



吹奏楽部演奏



邦楽部演奏



放送部

